

わくわくを芽吹かせて、幹となる学力を養い、無限の可能性の枝を持つ大樹に育つ「本物の体験」があふれる学校。

重視するのは「本物の体験」。
世界に向かって羽ばたく子どもたちを育てます。

本校の教育理念・目標は「世界に挑戦する12歳」。子どもたちの学びの場となるコンテンツとプログラムは全て、挑戦・協働・貢献の教育方針に基づいた、「国際教育」「確かな学力」「スポーツ&アート」から作られています。知的好奇心を刺激し引き出すレベルの高い授業や、「おもしろい」「できる」を実感させ自己効力感を高める行事が盛りだくさんです。子どもたち一人ひとりの挑戦する姿勢を教職員全員で応援し、「本物の体験」の中で誰もが大きく育つ学び舎、それが田中学園立命館慶祥小学校です。



Stage 1 1・2年生

「学ぶを、しあわせに。」
わくわく、どきどきの種が芽吹く。

本校が最も大切にしているのは「学ぶことが楽しい」と感じられること。「知りたい・感じたい」一つ一つの学びへの欲求に応える少人数クラスで、主体的かつ積極的に、学びそのものを純粋に楽しむことのできる“芽”を育てます。担任の先生だけではなく、各学年にいるネイティブ教員や専科の先生に見守られ、さらに縦割りグループ「LEAF」のお兄さんお姉さんにも手を差し伸べてもらいながら、温かな学校生活をスタートさせます。

縦割り教育
“TREE”システム
詳細は裏面へ

「教育は環境」。
高度なイメージョン/ICT教育の6年間。

子どもたちの成長には日々過ごす環境が大きく影響します。本校では何気ない日常の時間の中にも英語に触れる環境があり、近い将来世界に挑戦するための英語力を自然に培うことができます。また、日々進化する高度な情報化社会とグローバル化に対応すべくICT教育を充実。低学年から実用的にICTを使いこなすための正しい知識と技術習得をスタートさせます。



英語
イメージョン
教育
詳細は裏面へ

ICT教育
詳細は裏面へ

Stage 2 3・4年生

学び舎は大きな遊び場。

森に象徴されるように、本校は校地全体がしあわせに学ぶ場であり、遊び場です。四季豊かな札幌で一日でも長く外で遊べるよう、世界のアスリートも使うような人工芝を設置。給食を中心とした食育をはじめ、生活に密着した健康教育の中で、子どもたちはたくましい身体をつくっていきます。五感を最大限に刺激される毎日を過ごし、一人ひとりがのびのびと心と身体の幹を成長させていきます。



教科から学校、そして地域へとつながる深い学びへ。

身の回りのことにつながりを発見し、物事の面白さに気付いていく中学年。知的好奇心とエネルギーを受け止める「つながる」学習は、Stage2から本格始動します。共に知識を深め合う異学年間の「教え合い」と、教科横断型授業「LINK」の2つのメソッドが特徴的です。また自治体と連携し、離れた地域の小学校との学びの機会を持つことで、さらに視野を広げていきます。



教科横断型
授業
LINK
詳細は裏面へ

Stage 3 5・6年生

できる、わかる。
自己効力感がさらなる挑戦を加速。

失敗を繰り返し、またチャレンジするたびに心の幹を太くし、「自分ならできる」という自己効力感が高まる高学年。少しずつ壁を乗り越えた経験が、さらなる挑戦を後押しします。Stage3では「Watashi時間」や海外プログラムなど、個性の違う一人ひとりの挑戦を応援する環境が用意されています。子どもたちは一步一步着実に「世界に挑戦する12歳」へと成長していきます。



Watashi
時間
詳細は裏面へ

海外
プログラム
詳細は裏面へ

本物の体験「3大FES」で
心の根っこを育てる。

実感のある学びには、心を動かす本物の実体験が不可欠です。それを実現するための行事が、「確かな学力」「スポーツ&アート」を象徴する行事「3大FES」です。保護者も一体となり熱くなる「Sports Festival」、本物の芸術に触れて感性を研ぎ澄まし、自分たちの想像（創造）へとつなげる「Art Festival」。そして「Academic Festival」では6年間の学習の集大成を発表します。行事は一人ひとりの個性が輝く場。子どもたちは自分や仲間と向き合う中で、人としての“根っこ”をさらに太くし、自信をつけていきます。



Campus

学び舎は四季豊かな森の中。
五感で感じる自然と、最先端の施設を融合させた学びのフィールド。

児童には、一人ひとりが主体的に、かつ仲間とのコミュニケーションも大切に学ぶことができる環境が必要です。心も身体も大きく成長する小学校の6年間。本校では各教科の深い学びはもちろんのこと、人間力や感性を育むための環境が整っています。失敗を恐れずにチャレンジできるフィールドは校舎内だけでなく、森をはじめとした校舎の外にも広がります。



オープンで自由な教室

教室と廊下はつながっていて開放的。各学年2つの教室は、可動式の壁を動かして1つの大教室としても使用できます。直接文字を書ける壁で今までにない授業スタイルに。



さまざまな学びができる
ワークスペース

仲間との憩いの場であり、読書や自習ができる場所ともなる多目的スペースです。児童は、教室以外にも「自分の居場所」を持つことができます。



ホール型ライブラリー

階段状の棚やベースメントスペースに座りながら、洋書や図鑑などさまざまなジャンルの本を楽しめます。窓際のパーソナルスペースで、自分だけの本の世界に浸ることも。



交流の場となる
ミーティングスペース

児童がグループで話し合うときや、先生に相談をするときに使用。オープンなスタッフルームの近くにあり、児童が自主的に活動できる場所の1つです。



ネットステップ

学校の中央にある「ネットステップ」によって、ほかの階への移動も楽しい時間に。くぐったり、よじ登ったり、児童が夢中で遊びながら、安全に運動もできる空間です。



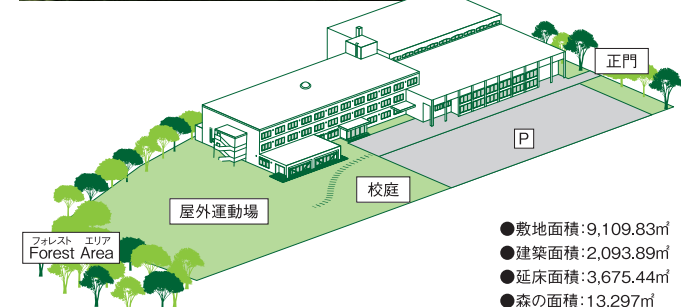
身体に優しい
人工芝のグラウンド

テラス前に広がるスペースには、プロ用の運動施設でも使われる人工芝を使用しています。休み時間には思う存分身体を動かすことができ、TREEの集いが行われることもあります。



森のアスレチック

校舎を出ると、そこに広がるのは森。ニセコアドベンチャーセンター(NAC)監修のアスレチックコースがあり、冬にはそり遊びもできます。四季豊かな札幌の自然を楽しめるのが、この学校の魅力の一つです。



- 敷地面積: 9,109.83㎡
- 建築面積: 2,093.89㎡
- 延床面積: 3,675.44㎡
- 緑の面積: 13,297㎡

ごあいさつ

「学ぶを、しあわせに。」
夢に挑戦する子どもたちを
全力で、サポートします。

学校法人田中学園
理事長 田中賢介

田中学園立命館慶祥小学校は、「世界に挑戦する12歳」を輩出することを教育理念・目標に掲げています。北海道から世界に巣立ち、地域をリードして豊かな未来をつくれる人を育てるため、本校ではさまざまな最先端の教育を行っています。それだけでなく、最も伝えたいのは『愛』——相手を思いやり、愛することができる人に育ってほしいというのが、我々の一番の願いです。
「Challenge with Dream」夢を持って挑戦することは、私が現役の野球選手だったころにチームと共に掲げた大切な目標です。私は、子どもたちの可能性は無限大だと思っています。失敗を恐れずどんな夢にでも挑戦できるよう、私たちができる限りのサポートをしますので、この学校で、一緒にチャレンジしていきましょう。



● 進路について

「なりたい自分」を実現させるための小中高一貫教育

小・中・高と一貫した高度な教育環境を展開することで、積み重ねてきた学習を途切れさせることなく、お子様の適性や能力を、時間をかけて育むことができます。多様性を認め、それぞれにあった柔軟な学びを提供し、一人ひとりの夢の実現を応援します。



立命館慶祥中学校



立命館慶祥高等学校

立命館慶祥高等学校卒業後の進路実績

東京大学	神戸大学	●海外大学
京都大学	慶応義塾大学	北京大学(中国)
北海道大学	早稲田大学	高麗大学 延世大学(韓国)
札幌医科大学	ICU	メルボルン大学(オーストラリア)
旭川医科大学	上智大学	チェコ国立カレル大学(チェコ)
弘前大学	東京理科大学	ウースター工科大学(アメリカ) 等
東北大学	明治大学	●学内進学
大阪大学	青山学院大学	立命館大学
名古屋大学	立教大学	立命館アジア太平洋大学
東京工業大学	法政大学	
一橋大学	中央大学	

多彩な進路へ

一定の条件を満たせば特別推薦で進学

世界に挑戦する12歳
田中学園立命館慶祥小学校

● 入試について

入試方針

これまでご家庭でお子様と保護者様が一緒に過ごしてきた体験が、知識・知恵として身についているかどうかを見る入試です。ご家庭で過ごす中で、学ぶことの楽しさを実感し、「学ぶことは楽しい」「もっと学びたい」という気持ちで入学していただきたいと思います。

新1年生入学選抜日程

9月	募集要項・願書配布
10月	願書受付
11月中旬	試験① ●選抜内容 ペーパー(お絵描き等の制作的要素もあり) 保護者作文
12月初旬	試験②・合格発表 ●選抜内容 運動・行動観察・面接(親子)

※新1年生は試験①と②の両日程で受験する

新2-4年生入学選抜日程

9月	募集要項・願書配布
10月	願書受付
12月中旬	1次試験・1次合格発表 ●1次選抜内容 ペーパー(算数・国語) 保護者作文
1月	2次試験・合格発表 ●2次選抜内容 運動・行動観察・面接(親子)

※出願までの日程は全年間同時

● 交通アクセスについて

公共交通機関の場合

地下鉄南北線澄川駅から徒歩7分
→バス停「西岡中央公園」下車 徒歩3分

お車の場合

札幌中心部より車で約20分 駐車場あり



Program 「世界に挑戦する12歳」を育てる教育プログラム

従来の教育にとらわれない、子どもたちの可能性を引き出す教育を提供します。

Program 1

英語
イメージ教育

英語というツールを体験から習得。
インプットとアウトプットの
両方を継続的に実践。

1年生からの英語の授業に加え、体育・音楽・図工・情報など実技教科を全て英語で学びます。毎回の授業は、教科のプロである専科の日本人教員とネイティブ教員が協働で作成、実際の授業もチームティーチングで行います。行動を伴う実技教科だからこそ、体を動かしながら英語が自然に身につきます。さらにネイティブ教員の指導で日常会話はもちろん、各教科の専門的な英語まで習得が可能です。今まで英語に触れてこなかった児童も、日本人教員のサポートにより安心して学ぶことができます。英語で行われる授業は週10時間に及び、学校生活の1コマ1コマでネイティブ教員が身近にいる環境が、児童の自然な英語習得を促進します。

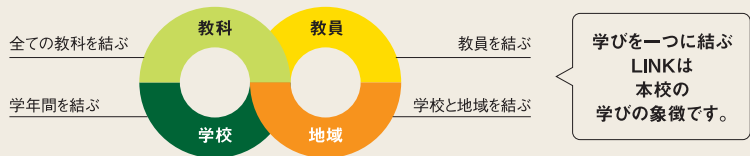


Program 2

教科横断型授業
LINK

教科の枠を超えて、
「広がる・つながる」。

「LINK」はただ正解を見つけるのではなく、仲間とのコミュニケーションの中で自分の考えや意見を持ち、主体的に行動する力を育むことを目的とした授業です。国語・社会といった教科の壁を取り払い、複数の教科を統合したプロジェクトを立て、探究学習を行います。LINKで仲間と共に問題解決に取り組む中で、児童は習得した知識を実践し「本当に使える知識」へと高めます。教科間のつながりから学校全体、地域・社会へのつながりを見つけることで「広がる」学び。学年が上がるにつれ、児童はより多くのものつながり、実社会へと「つながる」学びを体験します。



Program 3

ICT教育

高度情報化社会に対応できる、
情報スキルとモラルを学ぶ。

1人1台のデバイスを使用

プロジェクターなど最新機器を導入

各教室にwi-fiを完備

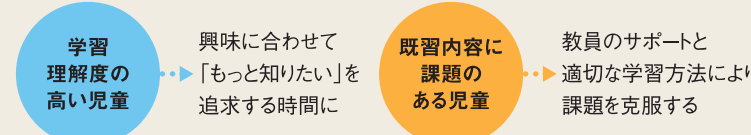
北海道新聞社協力によるMNI教育

Program 4

Watashi時間

個性が違えば、学び方も違う。
自分の興味や進度に合わせた
個別最適化学習。

少人数教育の特性を活かし、一人ひとりの児童に合った学びを探究する個別最適化学習の時間です。児童の興味や学習理解度に合った学習で、「わたし」の「好き」を追求します。教員が各児童の学習段階を見極め、教科書以外にも適切な教材や学習方法を提案。既習内容を十分に理解している児童は「もっと知りたい」を実現させるための時間として、また、課題を克服したい児童は、教員と一緒に理解を深める時間となります。そうした経験を積んでいくことで、「今の自分には何ができて、何ができないのか」を児童本人が認識できるようになり、自立した学習者へと成長します。



Program 5

縦割り教育
TREEシステム

異年齢の仲間と日常生活を過ごし、
上級生へのあこがれと
下級生への思いやりを育む。

本校の児童は、基本となる学級とは別に、年齢の異なる児童が縦割りで構成するグループ「TREE」に6年間所属します。TREEはいくつかの「LEAF」から成り、LEAFは各学年1名ずつのメンバーで構成されます。LEAFで清掃など日常活動を協力して行い、さらにTREEで行事などを行います。上級生は下級生をまとめるリーダーシップを、下級生はチャレンジ精神を身につけ、学年を超えて支え合う協調性を育み、さまざまな人とコミュニケーションをとる楽しさを感じます。毎日異年齢の児童同士の関わりを持つことで、個性の違いが当たり前のものとして受け入れられるようになり、助け合いを生み出します。



海外プログラム

高学年では、自分の興味や目標に合わせた海外研修(体験型・交流型・自立型)を選択できます。世界各地で本物の体験をし、豊かな国際性を育てます。

体験型	1週間程度の短期間プログラム。引率教員とともに参加し、異文化・異言語を体感することにより、日本の外に広がる世界を知ることができます。
交流型	1〜2週間、実際に現地学校に通うプログラム。ホームステイも取り入れ、バディやクラスメイトとの交流を通して、主体性・積極性・協調性を育てます。
自立型	1〜2か月、編入生として現地学校の通常授業に参加するプログラム。日常の問題解決に対して自分の力で挑戦し、海外での対応力を身につけます。

アフタースクール

児童は放課後、学校で2通りの時間を過ごすことを選択できます。

習いごと	放課後の時間を使って、学校内で習いことができます。スポーツ・語学・芸術・伝統文化など、それぞれの専門講師が1時間程度の講座を開講します。
学童保育	放課後も、安心安全な学校内で過ごすことができます。職員の管理のもと、児童は宿題や自習・読書等に取り組めます。

学ぶを、しあわせに。

